

クリタの  
カートリッジ純水器

クリボンバーKB型

取扱説明書



栗田工業株式会社



お買い上げいただきありがとうございます。

1	製品ご使用にあたってのお願い
---	----------------

1. 本製品をご使用いただく前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく、安全にご使用ください。
2. この取扱説明書が、実際に製品を操作されるご担当者のお手元に届きますようにお取りはからいください。
3. 本書をお読みになった後は、必ず保管してください。
4. 仕様、外観、および交換部品などは、改善のため変更することがありますのでご了承ください。
5. 日常点検および定期点検は欠かさず行ってください。

<お問い合わせ先>

クリボンパーに関するお問い合わせは、販売店もしくは下記までお問い合わせください。

〒160-8383 東京都新宿区西新宿3-4-7  
栗田工業株式会社 メンテナンス事業部 規格商品営業課  
TEL 03-3347-3448  
FAX 03-3347-3917



2	安全上の注意事項（使用上の注意）
---	------------------

1 警告表示について



本製品を正しくお使いいただき、製品の使用者やそのまわりの人々への危害を未然に防止するため、以下の注意事項をよくお読みください。

本取扱説明書には、以下の2種類の安全上の警告を表示するシンボルマークがでています。

それぞれの意味は、以下のとおりです。

 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う等の危険な状況が生じる可能性がある場合に示してあります。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、軽度の物的損害が生じることが想定される場合に示してあります。

## 2 安全・取扱い上の注意

 <b>警告</b>	<p>◎本製品で製造される純水（イオン交換水）は、直接飲料水、洗眼水としては使用しないでください。</p> <p>◎クリボンパー本体の転倒事故防止のため、付属の転倒防止器は必ずセットしてください。</p> <p>◎バッテリー（乾電池）を使用する際は乾電池の＋、－の向きを確認の上、正しくケースに装着ください。間違えたまま使用すると、熱がこもり設備が破損したり火傷につながる可能性があります。</p> <p>◎AC電源をご利用される場合、AC電源アダプターに水をかけたり濡れた手でACコンセントでのアダプターの抜き差しは行わないでください。感電事故につながります</p>
 <b>注意</b>	<p>◎設置場所は十分検討の上選定してください。</p> <p>◎ホースやホース継手を極端に曲げると水漏れ事故が起こる場合があります。</p> <p>◎クリボンパーに供給する原水は、水道水か同等の水を使用してください。</p> <p>◎クリボンパーに供給する原水圧力は、<b>0.34MPa</b>以下で使用してください。</p> <p>◎クリボンパーを使用されない場合は、元弁を閉めるか、給水側ホースをはずしておいてください。</p> <p>◎水質チェッカーや電源器には、絶対水がかからないように注意してください。又、表示灯部のフタ（透明部）をしっかり締め込んだり、チェッカー本体のピンジャック部（電源ケーブル差込み部）を専用カバーでしっかり覆っておいてください。</p>

# クリタのカートリッジ純水器 <クリボンバーKB型>

## 取扱説明書目次

1	製品ご使用にあたってのお願い
---	----------------

2	安全上の注意事項
---	----------

1.	設置前にご確認いただくこと	1
2.	仕様および各部の名称	2
3.	クリボンバーKB型の特長	3
4.	供給される原水水質	3
5.	組み立て	4
6.	純水の採水	8
7.	水質チェッカーについて	8
8.	純水の採水量	9
9.	保守管理について	10
10.	オプションについて	11
11.	樹脂筒の取換え方法	12
12.	使用済み樹脂筒の返送方法	13
13.	使用済み樹脂筒の送り先	13

<付属シート> クリボンバー管理シート

## 梱包内容明細

クリタのカートリッジ純水器、クリボンバーKB型の荷姿は、本体と付属品とに分けて梱包しています。  
このうち、本体用のダンボール箱は、必ず保管して使用済み樹脂筒の返送時に使用してください。

- (1) 本体用ダンボール箱 (必ず保管)
- ①樹脂筒 (イオン交換樹脂は、樹脂筒内に充填)
  - ②ヘッド本体および下部集水器、集水管 (樹脂筒に取付済み)
  - ③ボルトM8×15L、平ワッシャー付2本 (ヘッド本体に取付済み)
- (2) 付属品用ダンボール箱
- ①転倒防止器
  - ②水質チェッカー
  - ③水質チェッカー用バッテリーケース
  - ④水質チェッカー用バッテリー
  - ⑤バッテリーケース用設置台
  - ⑥水質チェッカー用AC-DC変換アダプター
  - ⑦給水側ホース (両端ホーセンドB [915] および片側万能口金 [363] 付)
  - ⑧純水側ホース (両端ホーセンドB [915] および片側ネジ口金 [900] 付)
  - ⑨ネジ口金 [900] (給水側万能口金のかわりにご使用ください。)
  - ⑩取扱説明書 (本書のこと)

## 1. 設置前にご確認いただくこと

### 1) 設置場所



#### 注意

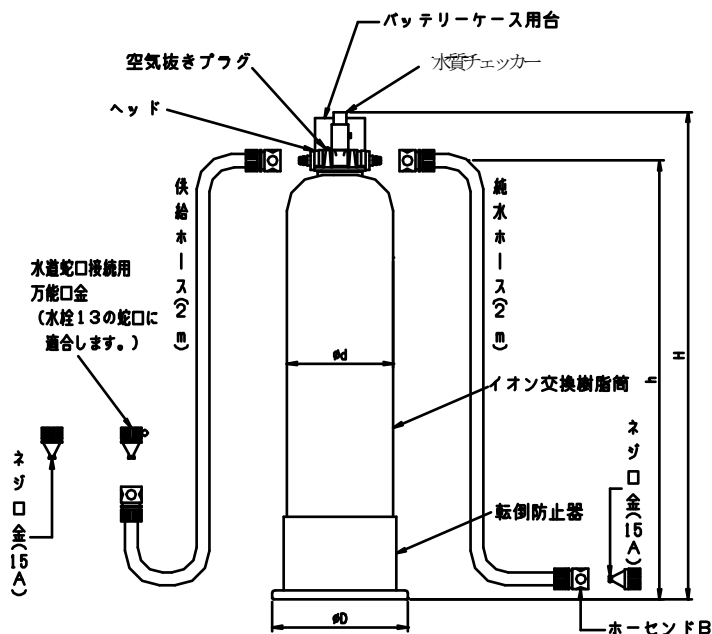
本製品は、次のような場所に設置してください。

- (1) クリボンバーの設置場所は、水平な場所で振動がなく、腐食性ガスのない場所を選んでください。
- (2) このクリボンバーは、屋内仕様のため屋外では使用できません。
- (3) 凍結の恐れのある場所では十分保温を行ってください。
- (4) 室温、水温によっては樹脂筒、その他に結露する場合があります。
- (5) 漏水時に対応できるように床排水のある場所に必ず設置してください。

床排水のない時や漏水事故により他の設備機器に被害が予想される場合には防水パン（ドレンパン）の上に設置し、漏水検知器などを取付けて原水の供給を止める等の処置が必要となります。

- (6) 樹脂筒が容易に交換できるスペースがあり、十分固定できる場所を選定してください。
- (7) 強磁界のない、電氣的ノイズの少ないところに設置してください。  
上記がある場合は、水質チェッカーの誤作動が起こる場合があります。
- (8) 水質チェッカー、バッテリー、AC電源アダプターなどに水がかからないように設置してください。性能低下や感電事故を起こす場合があります。

## 2. 仕様および各部の名称



各部寸法

	KB-07	KB-15	KB-25
$\phi d$	167	167	214
$\phi D$	260	260	310
h	506	938	917
H	595	1016	1014

クリボンバーKB型の型式と仕様

型 式	KB-07	KB-15	KB-25
標準流量 L/h	20~150	50~350	75~600
標準採水量 L/サイクル	約 1,350	約 3,000	約 5,000
イオン交換樹脂 L	7.5	15	25
最高使用圧力	0.34MPa		
最高使用温度 °C	30		
水質チェッカー	モニター・センサー一体型、LED3色表示 緑点灯<0.03mS/m<橙点灯<0.1mS/m<橙・赤点灯		
接続ホース径 mm	$\phi 12 \times \phi 18$		
製品重量 kg	8	14	25
運転時重量 kg	11	19	34

⚠ 注意	本製品の最高使用圧力は、0.34MPa です。上記以上の圧力で運転された場合は、水漏れ等の原因となることがあります。
------	--

⚠ 注意	本製品の最高使用温度は、30°Cです。温水等を使用した場合は、ホース、ホース継手等より水漏れ等の原因となることがあります。
------	---

- 注) 1) 標準採水量は、原水の電気伝導率 15mS/m (150 $\mu$ S/cm) を基準に樹脂量の10倍の通水量 (L/h) で採水した場合の数値です。  
2) 重量には、充填材であるイオン交換樹脂の重量も含んでいます。

### 3. クリボンバーKB型の特長

クリボンバーKB型は、クリタが長年にわたって積み上げた経験と研究によって培った純水の製造技術を基に、イオン交換樹脂の能力が最大限に発揮されるように設計された小型、軽量のカートリッジ純水器です。

- 1) 水道の蛇口に手軽に取付けることができ、スマートな形の純水器のため、屋内の任意の場所においてもスペースを取らずにご使用いただけます。
- 2) 水質チェッカーも多点ランプ式で、メンテ管理がしやすくなっています。
- 3) イオン交換樹脂の能力を使い切った時は、樹脂筒ごと供給、交換する便利なシステムをとっています。
- 4) 逆浸透膜ユニット（弊社マクエースなど）と組み合わせて、効率的な純水採水が可能なユニットへのシステムアップがはかれる設計となっています。


### 4. 供給される原水水質

このクリボンバーに供給される原水は、水道水程度の水質（表-1）を基準とします。

表-1 水道水の基準（抜粋）

項目	基準値
硝酸性窒素、亜硝酸性窒素	10mg/L 以下
有機物等（KMnO <sub>4</sub> 消費量）	10mg/L 以下
鉄	0.3mg/L 以下
マンガン	0.05mg/L 以下
pH値	5.8～8.6
色度	5度以下
濁度	2度以下

注) 1) 電気伝導率は、30mS/m（300 $\mu$ S/cm）以下を推奨します。

 <b>注意</b>	水道水でも配管により多量の鉄サビが持ち込まれる場所や、残留塩素が多量に含まれる場合には、イオン交換樹脂の取り替えが早まったり水質の上昇が悪くなったりします。 ＜その場合は前処理として、カートリッジフィルタ(カーボン、ワインドカートリッジ)を設置し、それら阻害性物質を除去してください。 (本書10頁の「オプションについて」をご参照ください。) >
---	---




## 5. 組み立て

梱包材、設置時に取りはずした部品は大切に保管ください。 返送時や保管時に使用することがあります。

### 1) 据付

クリボンバーは水平な場所に設置してください。 場所が決まれば付属品箱から転倒防止器を取り出し、その中に樹脂筒をはめ込んでください。

 <b>警告</b>	転倒を防ぐため転倒防止器をボルト等で固定するか、壁面又は柱から鎖あるいはロープ等で固定してください。
---	--

### 2) 給水側ホースの水栓（水道蛇口）への取付け

- (1) クリボンバーは、工場出荷時にヘッド本体の「IN」、「OUT」に付いているワンタッチストレートにポリ栓（キャップ）を付けていますので、必ず取り除いてください。
- (2) 給水側、純水側ホース（φ12×φ18テトロンコード入り）は、各2mでホースの両端には、ホーセンドBが取付けられており、給水側ホースには、水道蛇口との接続のため万能口金を取付けてあります。 この万能口金は水栓（蛇口）呼径13に適合します。もし万能口金を使わず、ネジ込み式配管から接続する場合は、付属品箱に入っているネジ口金を使用してください。 ネジ口金（900）はG1/2（PF1/2）のメネジです。 一方の純水側ホースにはネジ口金（900）が取付けてあります。
- (3) 水栓（蛇口）への取付けは、次の順序で行ってください。
  - ①給水側ホースのワンタッチジョイントシステムは、万能口金（363）とホーセンドB（915）から成り立ち、ホーセンドBのスライダー（オレンジ色）を矢印の方向に引き、万能口金とホーセンドBをはずします。（図-1）

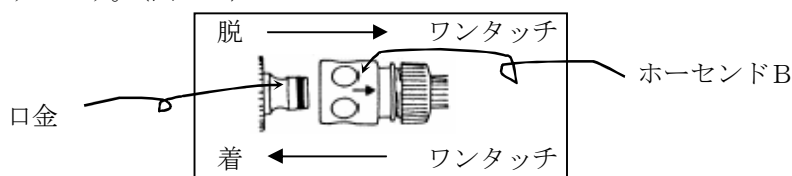


図-1

- ②万能口金の3本のビスを平均にゆるめ、リングの凹部を水栓（蛇口）に合わせて押し込み、ビスで固定します。（図-2）

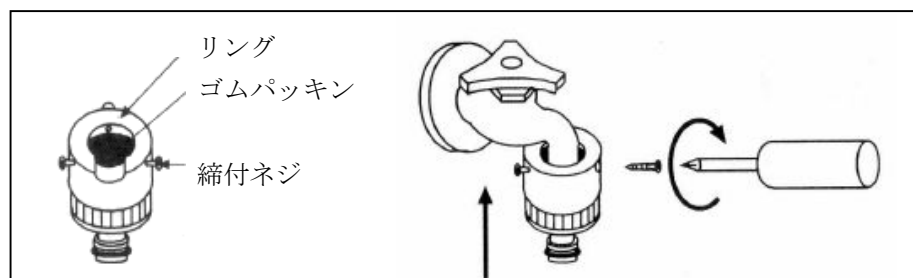



図-2

- ③ホーセンドBを万能口金に差し込みます。
  - ④万能口金を使わない場合は、ネジ口金（900）をご使用ください。

#### (4) 給水側ホースの短縮

水栓（蛇口）とクリボンバーを設置した距離が短い場合、ホースがたるみ折れたり邪魔になることがありますので、次の手順で切断してください。

- ①ホースを短くする場合は、ホーセンドBを万能口金、又はネジ口金よりはずし、ホーセンドBの袋ナットをゆるめてはずし、ホースを抜き取ります。
- ②ホースを適当な長さに切断します。
- ③袋ナットはホースに入れたままで、ホースをホーセンドBのツメとノズルの間に差し込み、ツメに深く入れてから袋ナットをねじ込み、ホースを強く締付けます。
- ④ホースを強く引っ張り、ホースが抜けないことを確認します。
- ⑤純水側のホースの短縮も同様に行います。


 <b>注意</b>	ホース、ホース継手を極端に曲げると水漏れを起こす場合がありますのでご注意ください。
---	---

#### 3) クリボンバーと各ホースの接続

給水側、純水側ホースとクリボンバーとを接続するときは、「IN」、「OUT」側を間違わないように接続してください。

給水側ホースは必ずヘッド本体に「IN」と表示されている側に接続してください。

純水側ホースは必ずヘッド本体に「OUT」と表示されている側に接続してください。

 <b>注意</b>	ホースの接続は正しく行ってください。 ヘッドの「IN」、「OUT」へホースを逆にして接続すると、水質チェッカーが原水（給水）を測定していることになり、表示灯は交換を示す赤・橙色を点灯することになります。又、樹脂筒内によく混合されて入っている、2種のイオン交換樹脂が分離してしまい、ホースを正しく接続しなおしても水質が上昇しないことがあります。
---	--

#### 4) 水質チェッカーの取付け (ご購入時の設定により次のどちらかの方式のみとなる場合があります)

##### (1) バッテリー (乾電池) 方式で使用する場合

ヘッドを樹脂筒につけたままでも取付け作業は可能です。

①付属のバッテリーケース設置台を、クリボンバーのヘッドにレンチ、スパナ等を用い付属の2組のボルト (M8-L15mm)、平ワッシャーセットにて設置します。(図-3)

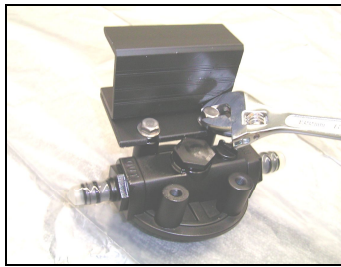


図-3

②水質チェッカーを、クリボンバーのヘッドの水質チェッカー取付け部に設置するため、レンチ、スパナ等を使用しあらかじめ水質チェッカー取付け部に固定されているプラグ (栓) を上からみて反時計廻りにまわし取りはずします。(図-4)

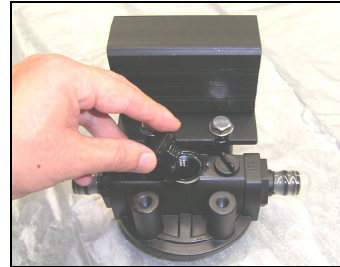
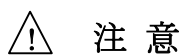


図-4

③水質チェッカーを、上からみて時計廻りに手でまわしねじ込みます。(図-5)



**注意**

変に傾けてねじ込もうとしたり、無理に工具等を使用し締め付け過ぎた場合には水質チェッカーやヘッド部が破損することがあります。

④バッテリーケースのふたを開け、必要本数 (1~2本) のバッテリー (指定された乾電池) をケース内に、+、-の向きを間違えずにはめ込み、ふたをします。(図-6)

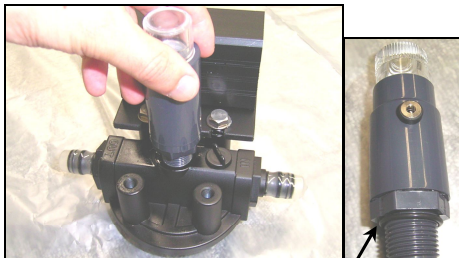


図-5      Oリング有り



プラスチックドライバー      図-6

⑤バッテリーをはめ込んだバッテリーケースをバッテリーケース設置台にセットします。(マジックテープがケースおよび台にペアとなるようそれぞれに貼り付けてあります)

このとき、ケースからの電気配線取り出し方向と、水質チェッカーにあるピンジャック (配線接続口) の方向が同じになるようにします。(配線をピンジャックに無理に引っ張って接続しない位置、向きにケースを台に設置してください。)(図-7)

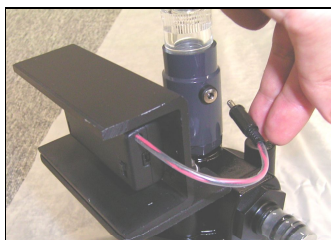


図-7

- ⑥ ケースからの配線を水質チェッカーのピンジャック接続口に差し込み、半透明のピンジャックカバーを接続部が覆われる位置にずらしてください。次にケース本体にある ON-OFF スイッチを ON 側にして水質チェッカー頭頂部にある表示灯が点灯するか確認してください。(図-8)

(そのときのセンサー部の環境により点灯色は異なり、

空気に接しているときと緑色のみ、その他は接している水の純度により色が違います)

確認後は、スイッチを OFF 側に戻しておいてください。ON 側のままですとバッテリーの消耗が激しくなりバッテリーの交換時期が早くなってしまいます。

また、水質チェッカー頭頂部のフタ (透明) がしっかりチェッカー本体にねじ込まれているか手で確認しておいてください。

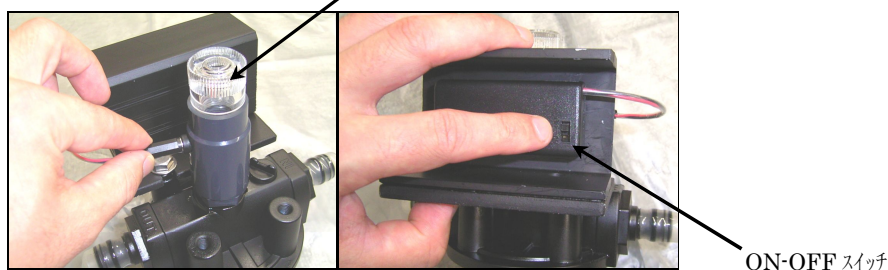


図-8

## (2) AC-DC変換アダプター方式で使用する場合

ヘッドを樹脂筒につけたままでも取付け作業は可能です。

- ① 前述 (1) ②、③の手順にそって水質チェッカーをヘッドに設置してください。

(バッテリーケース及びケース設置台を取付ける必要はありません。)

- ② アダプターからのピンジャック付き配線を、水質チェッカーのピンジャック接続口に差し込み、半透明のピンジャックカバーを接続部が覆われる位置にずらしてください。(図-9)

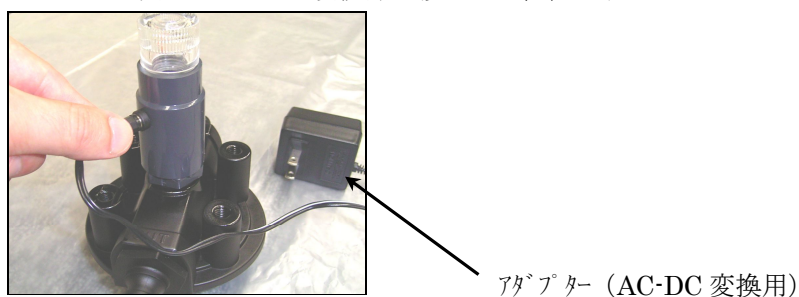


図-9

- ③ アダプタをAC 100Vコンセントに差し込み、水質チェッカー頭頂部にある表示灯が点灯するか確認してください。(そのときのセンサー部の環境により点灯色は異なり、空気に接しているときと緑色のみ、その他は接している水の純度により色が違います)

確認後、引き続きクリボンパーに通水しない場合はコンセントからアダプタをはずしておいてもかまいません。

また、水質チェッカー頭頂部のフタ (透明) がしっかりチェッカー本体にねじ込まれているか手で確認しておいてください。

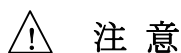
## 6. 純水の採水

### 1) 純水の通水量調整

水栓（蛇口）を徐々に開き流量を規定流量範囲（本書「2. 仕様」ご参照）に調整します。

### 2) 空気抜き操作

ヘッドのベントプラグ（エア抜き栓）を反時計まわりに徐々にまわし開け空気を逃がします。連続して水が出てくれば終了です。プラグは閉め直してください。少なくとも、新しくクリボンパーを設置したときや樹脂筒を交換したときは必ずこの操作を行ってください。



**注意**

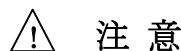
樹脂筒内に空気溜まりがあると、純水水质が正しく検知されず採水量管理が正しく出来ません。

### 3) 初期排水

規定の水質へ上昇するまで排水を行ってください。水质チェッカーの表示灯が橙色や赤色点灯から緑色のみ点灯に変わるまで水质が上昇したら純水の採水を行ってください。

## 7. 水质チェッカーについて

### 1) 使用上の注意



**注意**

- (1) 水质チェッカー及びピンジャック接続口、バッテリーケース・アダプターなどには絶対に水がかからないようにしてください。
- (2) 精密機器のため絶対に衝撃をかけないでください。

### 2) 仕様

寸法：水质チェッカー L108mm×φ33mm（突起部は除く）

電源：水质チェッカー DC3.6V、アダプター AC100V×50/60Hz

重量：水质チェッカー 約70g

電極：セルコンスタント 1.0

表示切替：3MΩ・cm以上：緑色、1<～<3MΩ・cm：橙色、1MΩ・cm以下：橙色・赤色

### 3) 測定

#### (1) バッテリー（乾電池）方式で使用する場合

①バッテリーケースからの配線が水质チェッカーとつながっていることをご確認の上、バッテリーケースにあるON-OFFスイッチをON側に切り替えてください。

②水质チェッカー頭頂部にある表示灯が点灯するか確認してください。（そのときのセンサー部の環境により点灯色は異なり、空気に接していると緑色のみ、その他は接している水の純度により色が違います）

測定水质や使用環境によっては表示が正しく安定するためにしばらく時間を有することがありますので、念のため、ONに切り替えてから5～10秒程度後に表示色をご確認ください。

③表示灯色の確認後はスイッチをOFF側に戻してください。

ON状態を続けるとバッテリーの消耗が激しくなりバッテリーの交換が早くなります。

## (2) AC-DC変換アダプター方式で使用の場合

- ①アダプターからの配線が水質チェッカーとつながっていることをご確認の上、アダプターをAC100Vコンセントに差し込んでください。
- ②水質チェッカー頭頂部にある表示灯が点灯するか確認してください。（そのときのセンサー部の環境により点灯色は異なり、空気に接していると緑色のみ、その他は接している水の純度により色が違います）  
測定水質や使用環境によっては表示が正しく安定するためにしばらく時間を有することがありますので、念のため、通電開始から5～10秒以降に表示色をご確認ください。  
(但し、連続通電中におけるご確認では時間を待つ必要はございません。)

## 8. 純水の採水量

- 1) イオン交換樹脂は一定量の純水を採水すると飽和状態になり、イオン交換能力がなくなります。このためイオン交換樹脂の交換（樹脂の活性化）が必要となります。
- 2) 通水中、水質チェッカーの表示灯指示色が緑色から橙色に変わるとイオン交換能力が少なくなったことを示します。早めに樹脂筒の取り替えのご用意をしてください。  
そのまま採水し続けると橙色だけでなく赤色も点灯します。これはイオン交換樹脂の能力が無くなったことを示しますのですぐに活性化済みイオン交換樹脂筒と交換してください。  
採水を途中一時停止した時、再通水時に純水水質が低下し橙色、赤色灯が点灯することがありますが、イオン交換樹脂の能力が残っている場合には数分で水質が上昇し緑色灯に変わります。
- 3) 純水の採水量の目安は下記の通りです。 \*保証値ではありません。

型 式 \ 原水水質	原水の電気伝導率 mS/m ( $\mu$ S/cm)			
	10 (100)	15 (150)	30 (300)	40 (400)
KB-07型	2000L	1350L	650L	500L
KB-15型	4500L	3000L	1500L	1125L
KB-25型	7500L	5000L	2500L	1875L

注) 標準採水量は、原水の電気伝導率15mS/mを基準に、充填イオン交換樹脂量の10倍の通水量(L/h)で採水した場合の数値です。


原水中のイオン構成比や通水流速により変動しますので予めご了承ください。

## 9. 保守管理について

### 1) 保守管理

- (1) クリボンバーの主材質は、樹脂筒はFRP（ガラス繊維強化プラスチック）製、ヘッド・継手部もABSなどの樹脂製ですので、0～30℃の範囲で使用してください。また、火気の近くに置きますと樹脂筒等が変形する恐れがありますのでご注意ください。
- (2) コンクリート壁等に直接触れると樹脂筒等が傷つく恐れがありますのでご注意ください。
- (3) 樹脂筒が汚れた場合は中性洗剤で拭き取ってください。シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。
- (4) 樹脂筒を凍結させないでください。凍結すると内部のイオン交換樹脂が壊れ性能低下を起こします。
- (5) 上部散水器はヘッド本体下部にネジ止めされており、取りはずして網の内部を洗うことができます。給水側より固形物が入り網が汚れた場合は洗浄してください。
- (6) 樹脂筒内に水を入れたまま運搬等を行うと内部に充填しているイオン交換樹脂が攪拌され比重差で分離しやすくなり性能低下を起こすことがあります。

### 2) 水栓（蛇口）の管理

 <b>警告</b>	異常水圧による水漏れ事故などの防止のため、クリボンバーを使わないときは、水栓（蛇口）を閉めるか、給水側ホースをはずしておいてください。
---	---

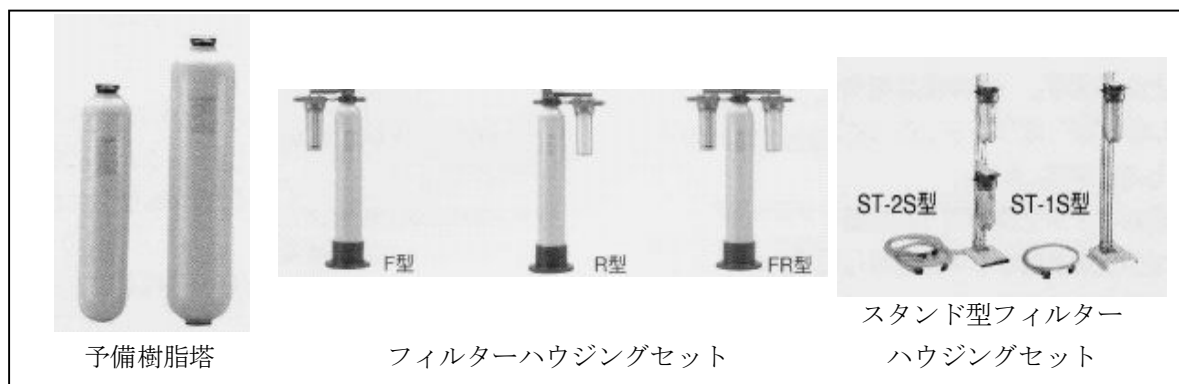
### 3) 消耗品の推奨交換頻度について

- (1) Oリング（水質チェッカー用：P-20型） 1回／2年
- (2) ホース及びホース継手 1回／年
- (3) バッテリー（水質チェッカー用：ER-6C/5TC型）

交換頻度は環境、測定回数、測定時間によります。

AC100Vコンセント→DC変換アダプタご利用の場合は不要です。

## 10. オプション（別売品）について



### 1) 予備樹脂筒

遠隔地や純水の供給を長時間停止できない場合、予備樹脂筒を保有されると安心してご使用いただけます。但し、樹脂を充填したまま長期保管（通常1週間以上）しておくとう性能が低下することがありますのでその場合は事前にご担当者にご相談ください。

### 2) フィルターハウジングセット

イオン交換樹脂は水中に溶解している各種イオンを除去しますが、水道配管からの鉄サビや残留塩素は除去できず、純水水質が悪くなりますので前処理用フィルターが必要です。また、微粒子等の除去には、後処理フィルターをご使用ください。弊社では次のフィルターハウジング3機種とカートリッジフィルターをご用意しております。

FR型	クリボンバーの前後にフィルターハウジングが付きます。
F型	クリボンバーの前にフィルターハウジングが付きます。
R型	クリボンバーの後にフィルターハウジングが付きます。

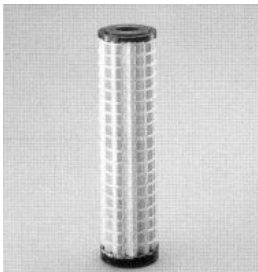
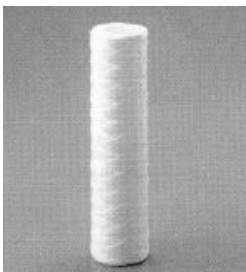
注) フィルターハウジングセットには、カートリッジは含まれていません。

### 3) スタンド型フィルターハウジングセット

K-1A-S型のフィルターハウジングがスタンドに取付けられています。

### 4) カートリッジフィルター

カートリッジフィルターも各種ご用意していますので用途に合わせてご選定ください。

	カーボンカートリッジ	ワインドカートリッジ
形状		
ろ過精度（公称）	10 μm	1、5、10、25 μm
用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>残留塩素の除去</li> <li>有機物及び色度成分の除去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>濁質の除去</li> <li>鉄サビ等の除去</li> </ul>



## 1 1. 樹脂筒の取り替え方法

「クリタのカートリッジ純水器 クリボンバーKB型」のイオン交換樹脂の取り替えは、皆様の所で面倒な作業を省くために原則として樹脂筒ごとに行います。

樹脂筒には、弊社専用の再生工場で活性化されたイオン交換樹脂を厳重な品質管理の元で充填し、検査の上で出荷しています。樹脂筒の交換は次の手順で行ってください。

### 1) 樹脂筒の水抜きと取りはずし

最初に使用済み樹脂筒内の水抜きを行います。

水抜きの方法は、「サイフォンで抜く方法」と「ホースをはずして樹脂筒を傾けて抜く方法」があります。

#### (1) サイフォンで抜く方法

- ①純水側のホースを純水出口側ではずし、先端を排水口に入れてください。ホース先端を樹脂筒より低くします。
- ②通水状態にして、ホース一杯に水を流します。
- ③通水を止め、すぐに給水側ホースをヘッド側からはずします。
- ④サイフォンの働きにより純水側から水が抜けます。水抜きの所要時間は3～5分です。
- ⑤水抜き後、純水ホースをヘッド側でもはずします。
- ⑥水質チェッカー及びバッテリーケース・台(又はAC・DC変換アダプター)をヘッドより取りはずし、水質チェッカー取付け部には替わりにプラグ(栓)を設置します。  
(組み立てとは逆の手順で行います。本書4頁からの「5. 組み立て」ご参照)
- ⑦ポリ栓(キャップ)を、ヘッドのホース継手(給水口、純水口ともに)にはめ込みます。
- ⑧転倒防止器はそのままにして樹脂筒全体の水滴や汚れを拭き取ります。

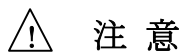
#### (2) 樹脂筒を傾けて抜く方法

- ①クリボンバーに接続している水栓(蛇口)を閉め、通水を止める。
- ②給水及び純水側ホースをヘッド側からはずします。このときホース内の水が漏れることがありますのでご注意ください。
- ③水質チェッカー及びバッテリーケース・台(又はAC・DC変換アダプター)をヘッドより取りはずし、水質チェッカー取付け部には替わりにプラグ(栓)を設置します。  
(組み立てとは逆の手順で行います。本書4頁からの「5. 組み立て」ご参照)
- ④樹脂筒を傾け、ヘッドが水平以下になるようにして、「IN」(給水側)を下向けにして水抜きを行います。このとき継手やヘッド部品を床等にぶつけるなどで破損させないようご注意ください。
- ⑤ポリ栓(キャップ)を、ヘッドのホース継手(給水口、純水口ともに)にはめ込みます。
- ⑥転倒防止器はそのままにして樹脂筒全体の水滴や汚れを拭き取ります。

### 2) 交換用樹脂筒の取付けと通水

本書の「5. 組み立て」、「6. 純水の採水」と同様に行ってください。

転倒防止器は、使用済み樹脂筒から取りはずし使用します。



**注意**

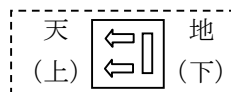
交換樹脂筒の入っていた本体用ダンボール箱は使用済み樹脂筒の返送用に使用しますので捨てないよう大切に保管してください。

## 1 2. 使用済みの樹脂筒の返送方法

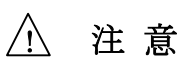
- 1) ヘッドと樹脂筒本体とが手ではまわらない程度に強く締め込まれていることをご確認ください。
- 2) ヘッドとヘッド上部のプラグ（栓）が手ではまわらない程度に強く締め込まれていることをご確認ください。
- 3) 樹脂筒に転倒防止器がまだはめ込まれている場合は、ここで樹脂筒から取りはずしてください。  
この転倒防止器は次に使用する交換用樹脂筒に使用してください。
- 4) 送られてきたダンボール箱に使用済み樹脂筒を詰めて所定の住所にご返送ください。

（送料は貴社負担となりますことご了承ください。）

尚、樹脂筒をダンボール箱に詰める際は、樹脂筒の上下（天地）方向と箱の上下（天地）方向表示（左図）を合わせてください。



運搬の際も、破損や水、樹脂漏れにつながりますので、上下逆にしないようご注意ください。



**注意**

この樹脂筒はプラスチック製のため、外面等を傷つけないように取り扱いを行ってください。

## 1 3. 使用済み樹脂筒の送り先

活性化済み樹脂筒との交換は、販売店や取扱窓口へご注文いただき、また、下記まで使用済み樹脂筒をご送付ください。尚、ご返送時の運送費は、貴社のご負担にてお願い申し上げます。

[ご返送先]

〒759-6301

山口県豊浦郡豊浦町川棚四の浜3911-2

栗田工業株式会社 豊浦事業所

TEL : 0837-74-1991

FAX : 0837-74-0991

カ ー ト リ ッ ジ 純 水 器  
< クリボンバー KB- 型 >

管 理 カ ー ド

連絡先 TEL		担当者	
------------	--	-----	--

No.	通 水 開 始 日	通 水 終 了 日	備 考
1	年 月 日	年 月 日	
2	年 月 日	年 月 日	
3	年 月 日	年 月 日	
4	年 月 日	年 月 日	
5	年 月 日	年 月 日	
6	年 月 日	年 月 日	
7	年 月 日	年 月 日	
8	年 月 日	年 月 日	
9	年 月 日	年 月 日	
10	年 月 日	年 月 日	
11	年 月 日	年 月 日	
12	年 月 日	年 月 日	
13	年 月 日	年 月 日	
14	年 月 日	年 月 日	
15	年 月 日	年 月 日	
16	年 月 日	年 月 日	
17	年 月 日	年 月 日	
18	年 月 日	年 月 日	
19	年 月 日	年 月 日	
20	年 月 日	年 月 日	
21	年 月 日	年 月 日	
22	年 月 日	年 月 日	
23	年 月 日	年 月 日	
24	年 月 日	年 月 日	
25	年 月 日	年 月 日	
26	年 月 日	年 月 日	
27	年 月 日	年 月 日	

☆このカードはコピーしてご利用ください。